



消費生活ニュース

—— 環境にやさしい暮らしを ——

「みんなで考えよう
くらしとルール」

平成23年3月10日発行

第14号

たつの市市民生活部なんでも相談課
たつの市消費者協会
たつの市消費生活モニター

たつの市龍野町富永1005番地1
TEL0791-64-3250 (直通)

口車に乗らないように

点検商法

点検商法とは？

最初は、お年寄りが見ることができない床下や屋根裏など無料点検を行うなどと言い「屋根裏の電気配線をネズミがかじっている」「床下が湿気ている。換気扇をつけないとシロアリがわく」「家の基礎にひびが入っている。接着剤で補強しないと壊れてしまう」とか事実と異なる説明をして不安がらせて次から次へと高額な補修工事をさせる訪問販売です。

電気配線をネズミがかじっている。危険である。

家の基礎にヒビが入っている。補修しないと家が倒れる。

床下が湿気ている。シロアリがわく。



たつの市でも最近こんな事例がありました！

このような点検商法に騙されて、契約書も取り交わしていない、領収書も受け取っていない工事を長年に亘って多額に金額を支払わされ、不信に思ったときには、相手は何処にいるやら、聞いている電話番号に連絡しても使用中止されている。まったく連絡のしようがないというような被害が起こりました。とくにお年寄りで一人住まいの家が狙われやすいです。クーリング・オフするにも連絡先が分からない。もちろん、お金を取り返すことも困難である。

独立行政法人国民生活センター
見守り新鮮情報第96号より

点検商法から身を守るために

1 業者は自分で選ぶ

リフォーム工事などは地元の信頼できる工務店などに依頼するのが安心です。後々修理を頼む場合など、遠方の業者だと出張費とかの名目で余分の経費を請求されることがあります。

2 契約書を取り交わす

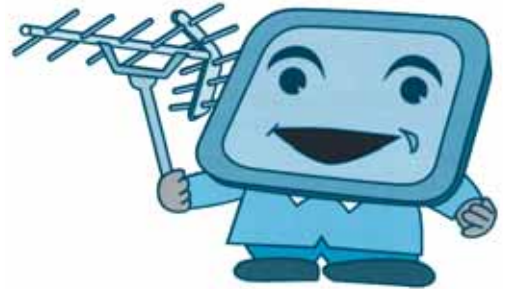
- どこをどう修理する、見積額はいくらか、自分の目で確認すること。
- 見積もりに基づく契約書を取り交わすこと。

アナログテレビ放送が今年7月に終了します！

アナログテレビ放送の終了まで残り半年を切り、今後、地上デジタル放送（地デジ）に関する悪質商法によるトラブルが増加するおそれがありますので、十分注意してください！！

こんな詐欺が増えています！

- ・業者が地デジ普及のためと集金にやって来た。
- ・地デジ工事のかたって前金をだまし取られた。
- ・総務省（デジサポ）と名乗る職員が訪問し、費用を請求された。



被害にあわないためのアドバイス！

- ・市役所職員、放送事業者が電話や直接お宅を訪問して地デジ移行を名目にお金を請求することはありません。
- ・頼んでいないことに対する請求や、覚えのない請求は、はっきりと断りましょう。
- ・一人で判断せずに、ご家族、信頼できる近くの電器店等に相談しましょう。
- ・市販されているデジタルチューナーを接続すれば、現在お使いのアナログ対応テレビでもデジタル放送を見ることができます。
- ・おかしいと思ったら、総務省地デジコールセンター（☎0570-07-0101）へ連絡をしましょう。

住宅用火災警報器

～既存住宅にも平成23年5月31日までに設置が必要です～

強引な訪問販売には
ご注意を！

【例】「消防署から取り付けに来た」

【例】「この住宅用火災警報器でないとだめ」

ひとつとアドバイス

不審に思われたら ・はっきり断る！ ・すぐに契約しないように！

住宅用火災警報器に関する問い合わせは、たつの市消防本部予防課（☎0791-64-3175）へ。

市では、生ごみの減量化・堆肥化を推進するため、EMボカシの普及啓発に努めています。

今回は、EMボカシの製造、啓発にご協力いただいている「EM利用研究会」の活動を掲載します。

EMボカシで生ごみ活用を！

EM利用研究会は、数年前から有志でEMを使って、農業、家庭菜園、環境浄化活動を行っていましたが、平成22年4月、たつの市のEMボカシの普及啓発事業に賛同して組織を結成しました。

活動拠点は揖保川ときめきセンターで、EM活性液及びEMボカシを製造し、池の水質浄化、安全安心な肥料作り、生ごみの減量化・堆肥化支援を行うとともに、EM利用の普及活動などを行っています。

具体的な活動内容は次のようなものです。

- ①毎月60kgのEMボカシを製造し、袋詰めして市環境課に渡す。
(環境課では、これを生ごみ堆肥化事業の参加者等に配布する。)
- ②市のEMボカシ啓発イベントに参加し、広く市民に周知する。
- ③水質の悪化した溜め池等の浄化活動を行う。
- ④自治会や地域団体での講習会、体験学習会を開催し地域の活性化を支援する。
- ⑤希望者には製造現場を見学いただき、説明する。



◎米のとぎ汁発酵液を作ってからEMボカシ（10～12kg）を作る方法

1 材料

- ①EM 1号20cc、②糖蜜20cc、③米ぬか10kg、④発酵促進剤200g

2 作り方

- (1) 2ℓのペットボトルに①EM 1号20cc、②糖蜜20ccを入れ、さらにペットボトルの上から5cmまで新鮮な米のとぎ汁を入れて密封する。
- (2) 約40℃の環境で熟成させながら、途中でこまめに発酵ガスを抜く。
- (3) 甘酸っぱい香りがしてきたら米のとぎ汁発酵液のできあがり。
- (4) ③米ぬか10kgに米のとぎ汁発酵液2ℓを混ぜ合わせる。
- (5) 15ℓ程度の容器に(4)を入れできるだけ空気が残らないよう、手で押さえながら満杯にして密閉する。
- (6) 2か月間直射日光の当たらない暖かい場所で熟成させる。
- (7) ビニールシートに取り出して④発酵促進剤200gを入れて、ほぐしながら乾燥させるとEMボカシのできあがり。

◎生ごみ堆肥化方法

- (1) EMバケツに、水切りした新鮮な生ごみを入れ、生ごみの3分の1程度のEMボカシをふりかけて上から抑えることを繰り返す。(表面が空気に触れないようにし、水抜きコックからこまめに発酵液を抜く。)
- (2) 容器が満杯になったら2週間程度熟成させる。
- (3) 熟成後、生ごみと土を1：4の割合でコンテナ、プランター等で混ぜ合わせ、表面を土で覆い、雨・動物よけのシートを掛ける。
- (4) 2～3週間、土となじませればできあがり。

※米のとぎ汁発酵液は10倍に薄めると配水管の臭い消しに、500～1000倍に薄めると花や野菜の育成にも使用できます。

※関心のある方は、EM利用研究会のEMボカシ製造現場を見学できますので、市環境課まで連絡をお願いします。(連絡先：市環境課 ☎64-3150)

ジェネリック医薬品ってどんなもの？

★ジェネリック医薬品（後発医薬品）とはどんな薬ですか？

ある製薬会社が開発した新薬の特許期間などが切れた後で、厚生労働省の認可をうけて発売される医薬品（後発医薬品）のことを「ジェネリック医薬品」と言います。



★ジェネリック医薬品はなぜ安いのですか？

新薬の開発には莫大な費用と長期の研究期間がかかりますが、ジェネリック医薬品はすでに有効性や安全性の認められた成分のため、承認までの期間は短くて済み、開発にかかるコストが格段に安くなります。

★ジェネリック医薬品の品質は大丈夫ですか？

これまで効き目や安全性が実証されてきた新薬と同じように様々な試験を行った上で販売をしていますので、安全性や品質に問題はありません。



ジェネリック医薬品は、医療用医薬品です。病院や医師による処方せんが必要です。
詳しくは、かかりつけの医師や薬局の薬剤師にご相談ください。

** 相談窓口を開設しています **

◎消費生活相談

* 西播磨生活科学センター
(たつの市新宮町宮内)

☎0791-75-0999

平日（午前9時～午後4時）

* たつの市なんでも相談課

☎0791-64-3250

平日（午前8時30分～午後5時15分）

◎週末消費生活相談ダイヤル

と き：土・日曜日（午前10時～午後4時）

連絡先：フリーダイヤル 0120-511-103（無料）

◎消費者被害・多重債務・成年後見問題 無料相談会 司法書士相談

と き：毎月第4土曜日 午前9時～正午

ところ：たつの市産業振興センター（龍野町堂本）

☎0791-63-9961

連絡先：兵庫県司法書士会 ☎0791-63-3707